

足立区立亀田小学校
学校長 大井 欣一 様

足立区立亀田小学校
開かれた学校づくり協議会

令和6年度 学校関係者評価

1 自己評価全般について

【学力の確実な向上】

- 4月に実施した区学力調査の結果について、国語の目標値通過率が97.1%（1.7%増）、算数の目標値通過率が98.4%（3.2%増）との報告があり、この数年間の取組の成果が数値として表れている。
- 児童の能力を伸ばすために努力し、児童が分からないところを放置せずにフォローする素晴らしい教育をしている。
- 多人数学級が多いように感じるが、グループワークやICTを取り込んだ授業で、直感的に意見や考えの共有がされている。
- 朝のパワーアップタイムや放課後補充学習等での指導も結果につながっている。来年度も継続してほしい。
- ☆アンケート結果で、高学年になるにつれて、分からなかったときに教員よりも友達に聞くというのが気になる。教員に聞きづらい雰囲気なのか。
- ☆タブレット端末を使う授業は、教員一人に対応するのが難しいときがあると感じる。
- ☆AIドリルは回答の読み込みエラーなど細かいストレスが多く、児童がいらだつことが多いように感じる。

【豊かな心の育成】

- 「自分を好き」という子が82%（1%増）と昨年度より増え、校長が掲げた目標達成基準の80%を達成した。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限から解放され、クラブ活動や課外活動、地域と連携した学習などを実施することができた。その中で、児童の自己肯定感や自尊感情が高まってきていることを好ましく思う。
- 「学校は楽しい」（91%）何より嬉しいことである。学校公開では、休み時間でも、授業でも楽しみながら学んでいる様子が伺える。教員の日頃の工夫が、取り残されていないという自信になり、それがこの結果を生んでいるとも言える。クラブ活動や委員会活動の時間が果たす役割も大きい。楽しいと自信をもって言えることは、責任感の向上にもつながっていくと思う。
- 児童中心の活動（委員会や運動会、六年生を祝う会の運営など）が毎年毎年増えていて、特に上級生の活気、自己肯定感につながっていると感じる。委員会活動では5年生と6年生が互いにリスペクトし合って活動する様子に感心している。
- 地域の者としての一番の望みは、児童が心豊かに育ってくれることである。
- ☆目標の80%は達成したものの、「自分を好き」という項目に関しては、「学校は楽しい」（91%）「よいところ、得意なことがある」（95%）と比較すると、まだ低い水準にあると言える。児童の自己肯定感や自尊感情をさらに向上させることができるよう、工夫を続けてほしい。
- ☆アンケートの「相談できる人」には養護教諭も含まれているのか。
- ☆いじめを初期段階で「見える化」するため、情報共有や無記名でのアンケート実施、SCによる全員面談等を適宜取り入れてほしい。

【体力の向上】

- 体力・運動能力調査では、91/96種目が区の平均を超えていた。これは、昨年度と比較しても6種目増えており、体育科の授業改善はもちろん、夏季水泳指導、持久走旬間、なわ跳び旬間といった取組の成果であると言える。
- 下校後に外遊びをする時間がなかったり、長期休業明けは規則正しい生活に戻るのが難しかったりするが、持久走旬間やはつらつカードのおかげで、目標達成目指して取り組み、その結果、体力向上や早寝・早起きにつながるので、継続してほしい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

○今年度はおや亀の会と共催で土曜事業が実施できてよかった。

☆保護者会での交流が、すでに知り合いの人としか行えない雰囲気がある。茶話会のような場があると横のつながりができて孤立する保護者が減るのではないかと思う。最後の5分間を自由に交流する時間にするだけで、ありがたいと思う人がいると感じた。

☆H&Sをもっと活用してほしい。紙での配付と配信を両方しているが、紙は不要だと思う。紙だけの場合もあり、統一した方が分かりやすい。

3 学校の様子について

【学校教育の取組や学校施設について】

○教育はすぐに結果は出ない。5年かけて改革され、素晴らしい結果である。これからも維持するよう結束を期待する。

○教職員が学校の目標に向かって努力している結果が今回の評価につながっている。

○「めざす学校像」を実現するために、校長の強い統率力と、教員全員が一丸となって全力で取り組む姿勢が感じられ、実際にそれを達成している。

○取組が、児童の目線に合わせたものになっていてよい。

○課外クラブの活動は、教員の負担が大きいとは思いますが、習い事ではない学校の友達と練習することにより協調性や向上心が育まれ、よい結果も出ているのではないかと思う。

○学校はいつもきれいに整えられている。職員の気配りや丁寧な仕事ぶり、児童への指導が感じられる。

○増設した施設を、廊下のスペースなどを上手に工夫して、合理的かつ安全に使用できている。

☆図工室、理科室、第一算数室で、椅子や机のとげが刺さり、何度かけがをしている。

【教員の授業について】

○授業にしっかりと取り組む児童が多い。

○教員の、児童に優しく熱心に対応する姿勢に感心している。

○個に合わせた対応をしていて、児童が集中できるように考えながら授業をしているのが分かる。

○ほとんどの教員が、笑顔で快活に児童に接している。特に若い教員の堂々とした態度が好印象である。児童には、教員のはつらつとした姿を忘れずに、今後の自身の心の成長に大きく役立ててほしい。

○児童が楽しく興味をもって授業を受けられるように工夫されていた。

○新年度を迎える度に「また同じ担任の先生のクラスになりますように」と我が子が願っているほど、素晴らしい。授業参観のときも、いろいろと工夫されていた。

○楽しく学習させることや、どうすれば理解できるか考えること、補習を行うことなど、負担が大きいと思う。感謝している。

○教えるところと考えさせるところのめりはりのある意欲的な授業が多い。

【子供たちの様子について】

○落ち着いて行動し、授業中も休み時間ものびのびと過ごしていて喜ばしい。

○セーフティ教室で学んだことを自宅でも話し、実践しようとしている。

○ほとんどの児童は、学校内外で元気に礼儀正しい。学校内ではルールに則って行動・発言している印象がある。以前から九中では「亀田小の卒業生は優しい子が多い」と言われている。今後もこの「亀田小の子供らしさ」を受け継いでいてもらいたい。

○学校での楽しかったことや楽しい予定を家で話している。学校生活を楽しんでいる様子である。

☆「早寝・早起き」については、保護者の協力が第一だが、児童が積極的にできるよう、実施できた日はシールを貼るなどするのも楽しいかと思う（特に低学年）。

☆会話の構築が下手な児童が多い印象がある。また、その場で解決できず、後を引くように感じる。コミュニケーションをもう少しとれるようになればいいと思う。

【その他】

○学校全体がまとまっていて、とても居心地よく感じる。

○亀田小の児童に会ったときは「学校は楽しい？先生たちはどう？」などと質問をするようにしている。児童は皆学校生活がとても楽しいと答える。教員（特に校長）から元気のパワーをもらっていることである。大所帯の小学校を混乱なく運営してもらい、地域の者として感謝している。

○運動会で、教員が近くで見守りながらエールを送り、一緒に踊ったり歌ったりしている姿に感動した。